

# 吹田の郷

発行/NPO 法人すいた市民環境会議 会長/小田忠文 ホームページ<http://www3.big.or.jp/~sskk/sskk.htm> 設立/1997年3月15日  
事務局/〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3丁目8-28-106 中村小夜子 TEL/090-8375-0647 FAX/06-6386-9491 編集/会報委員会  
年会費/正会員(個人・団体)1,000円、正会員(法人)10,000円、購読会員1,000円、賛助会員10,000円 郵便振込口座番号/00980-3-28845



## 目次

1. 表紙
2. 会長コラム 表紙の大木説明
3. 環境基本計画(素案)に意見提出
4. エコクッキング・みどりのカーテン
5. 打ち水で 楽しく 涼しく 他
6. 大木調査 第9報
7. ピアノ池ヒメガマ刈り取り大作戦
8. 枚方宿・鍵屋・淀川資料館見学
9. まちを歩けば
10. たんぽぽくらぶ カフェ 居酒屋
11. こんなイベントもありました
12. 吹田千里ライオンズクラブ支援金  
散策案内・編集後記 他

# 春夏秋冬

会長 小田忠文

ことは梅雨明けからしばらくは過ごしやすい夏だった。ところが立秋の8月8日、高校野球が始まるとともに猛暑が始まり、お盆を過ぎて今年の最高気温を記録した。▲熱中症を心配する人も多かったことと思う。火傷(やけど)したように枯れている植物をたくさん見かけた。ニュースでは海水温の上昇で珊瑚が白化し死んでいくと報じていた。▲吹田のヒメボタルの撮影でお世話になっている動物写真家の小原玲(おはら・れい)さんが今年7月に「流氷の物語り」(河出書房新書)という写真集を出版した。カナダのハドソン湾の流氷上で出産・子育てするタテゴトアザラシの写真集だ。そこにはとても可愛いタテゴトアザラシの赤ちゃんの写真がたくさんあって心がなごむ。▲小原さんは18年前からこの場所でタテゴトアザラシを写していた。しかし「ここ10年間で様子が変わってきた。流氷が来るのが遅くなり消えるのが早くなってきた」という。タテゴトアザラシは2月末から3月初旬に流氷上で出産する。15年前には4月まで残っていた流氷が、今年は赤ちゃんが泳ぎを覚える前の3月中にほとんどが消えてしまい、十萬頭を超える赤ちゃんが死んだだろうとのことだ。▲これを裏づけるように海洋研究開

発機構と宇宙航空研究開発機構は衛星による観測で、「今夏の北極海の海氷面積が史上最小を記録した」と8月に発表した。▲話を日本に戻し、小原玲さんによると鹿児島県の川内川(せんだいがわ)で見られるゲンジボタルの数が今年は激減した。昨年の集中豪雨でホタルの成育場所の堤防が浸食されたためだそうだ。日本のゲンジボタルには温暖化の影響はないだろうと思っていたが、雨の降り方が尋常でなくなってきており、安心できなくなっている。▲これらが地球温暖化の前兆だとすると、今後どうなるのか考えることが恐ろしくなる。今まで私たち環境会議は「子や孫、未来の子どもたちのために地球温暖化防止に取り組んでいこう」と呼びかけ、「無理をせずに取り組もう」と呼びかけてきたが、そうするにはもう遅い。私達そのものが影響を受けそうである。▲もっと多くの人々に地球温暖化防止に取り組んでもらうための方策を考えなければならない。そこで環境会議の会員にお願いがある。あなたの周りの人たちと、さらにメールを使えば世界の人たちと環境の大切さ、地球温暖化の恐ろしさを語りあい、「温暖化防止のためには一人一人の努力が大切で、まずはできることからはじめよう」、すでに取り組んでいる人々には「さらに頑張ってみよう」、そして「一人でできなくても多くの人々の力を合わせてできることがあればそれをしよう」と呼びかけてほしい。

参考：小原玲さんのブログ(2007年3月)でタテゴトアザラシが語られています。

<http://reiohara.cocolog-nifty.com/blog/2007/03/index.html>

## <表紙の大木>

吹田の大木シリーズ(5)

### 山田東・円照寺のヤマザクラ

山田東・円照寺の裏山にはヤマザクラの大木があります。4月下旬の頃に花を咲かせ「地域住民にタケノコを掘る時期を知らせていた」といわれています。幹周りが288cmあり、2000年には吹田市の保護樹木に指定されました。

吹田市内では万博公園や千里さくら通りなど、公園樹や街路樹として多数のソメイヨシノが植えられており、サクラの名所も多いが、市街化される前に自生していたサクラはヤマザクラやカスミザクラで、円照寺のサクラは吹田市で最も大きなヤマザクラです。今は宅地化されてほとんど無くなった吹田の原風景、里山の自然を伝えるヤマザクラを吹田市の自然遺産としていつまでも守っていききたいものである。

(表紙画：安芸早穂子 文：平 軍二)

# 環境基本計画（素案）に意見を提出

すいた市民環境会議 事務局

吹田市は環境基本計画が策定されて9年目の今年7月、新たな課題に対応し、更に実行ある計画にするために同計画の見直しの素案をまとめました。（市報すいた 7月1日号参照）

吹田市はこの素案に対する意見を求めていましたので、理事を中心に検討し、7月31日すいた市民環境会議としての意見を提出しました。その内容をお知らせします。

## ■ 1 法律との関係について

基本計画全体に「新・生物多様性国家戦略」の概念を盛り込んでください。さらに国の環境基本法の中で市民にもなじみのある（容器包装リサイクル法、特定外来生物被害防止法、環境教育推進法などの）法律にも言及してください。素案にある「環境基本法」という表現だけでは市民の理解は得にくいでしょう。

## ■ 2 緑比率について

緑比率は重要なキーワードです。少なくとも5年毎には調査してください。

## ■ 3 市民との協働と財源について

市民との協働、市民参画もキーワードです。素案全体を通じ「役所がやっていくのだ」という感じがうかがえます。「市民や事業者とともにやっていくのだ」という感覚を素案に盛り込んでほしいものです。

その流れでいくと、行政の施策として「市民や事業者の環境保全活動の支援」も欠かせません。素案では現在施行中の計画（以下、現計画）にある「財源の確保」の項目が欠落しています。財政的裏づけを欠落させる意味が理解しにくいです。

## ■ 4 環境配慮指針について

現計画には「本計画に基づく環境配慮指針をつくり、実効あるものとします」とあります。すいた市民環境会議は再三、この配慮指針作成を市民参画で行うよう吹田市に要望してきました。しかし当初の回答は「市で素案を作り、環境審議会の意見を聞く」とのものでした。やがて「アジェンダ21が配慮指針に代わるもの」との回答になり今日を迎えています。

今回も市民参画で環境配慮指針を作成しないと様子の10年が過ぎていくであろうと思われます。地球温暖化が現実のもの

なってきた今日、前回の轍を踏むことのないように時期を明記して「本計画に基づく環境配慮指針をつくり、実効あるものとします」の文言を含めることを希望します。

## ■ 5 定期的な自然環境調査について

素案には工業、商業、農業、交通に関する最近のデータは記載されています。しかし肝心の自然環境調査のデータはまったく見られません。

多くの市民が自発的に環境保全活動をしている本市だからこそ、市民や事業者とともに大勢の市民が参加して自然環境調査をしながらデータを残せるはずで、素案の計画のままではいつまでたっても吹田市として自然環境データが蓄積されないでしょう。「定期的に自然環境調査をする」という決意を本計画に盛り込んでください。

## ■ 6 手順について

先日（7月25日）の環境フォーラムに参加しましたが、なぜ環境基本条例に基づく説明会ではなかったのでしょうか。このままだと7月中に今回の意見を求め、秋に環境審議会に提出し承認という流れのように感じられます。

本計画の上位条例である吹田市環境基本条例第8条第3項には「市長は、環境基本計画を定めるに当たっては、あらかじめ市民、事業者又はこれらの者の組織する団体の意見を聴くことができるよう必要な措置を講ずるものとする。」とあります。しかし今回はこの手順が踏まれているとは言えないと思われます。

【参考】 前回は現計画が完成し、その施行直前の98年4月19日に「意見を聞く会」が開かれ13の市民団体が意見を述べました。

今回は環境審議会に諮る前に開催されることを希望します。

ゴーヤも使って

参加者募集

# 「日本の夏のエコ・クッキング」

「みどりのカーテン」でできたゴーヤを使って、エコ・クッキングしませんか。

もっと「みどりのカーテン」を広めるために、おいしくて、たのしくて、うつくしくて、かんたんで、らくちんで、からだによい、環境のためになるエコ・クッキングメニューをつくりましょう。

日 時：9月12日(水)

10:00~13:00

場 所：亥の子谷コミュニティセンター調理室

内 容：エコ・クッキングで調理・試食

わいわいメニュー研究

もちもの：エプロン・三角巾(バンダナなど)

ふきん・手拭用タオル

もしあればご自宅でできたゴーヤを

ご持参ください。

募集人数：15人(定員になり次第〆切ります)

費 用：500円

申し込み：Tel/Fax 小田 06-6319-0630

西川 06-6877-9734

【この企画は平成19年度大阪府環境保全活動補助金交付事業です】

日本夏のエコ・クッキング  
お献立書

夏野菜のラタトゥイユ(保温調理)  
ゴーヤの鱈いため  
ゴーヤサラダ  
ゴーヤの冷たい和風スープ  
ご飯  
お茶  
お茶

材料によって、  
変更があるかもしれません

## 「みどりのカーテン」が育っています。

ゴーヤの実がなると  
うれしい



「**気温測定**」  
実施中

8月~9月、生活環境委員会では「みどりのカーテン」を育てている方(有志20人)へ「気温測定」キットを配布して、「みどりのカーテン」の内と外の気温差を計測しています。

写真は8月20日午後3時 みどりのカーテンの内側は外側より1.8℃涼しかった。



この猛暑にもめげず  
ぐんぐん伸びました

# 打ち水で 楽しく! 涼しく!

今年は特別に暑い夏ですね。みなさんいかがお過ごしでしょう。  
すいた市民環境会議は今年も打ち水に参加しました。  
打ち水をする、舗装道路の表面温度が約 10℃下がります。  
気温は 0.5~2℃下がるといわれています。

市長さんも、議長さんも  
「せーの、涼しくなあれ!」

## 7/28 すいた祭前夜祭(神崎川会場)

吹田を冷やせ!



直前の夕立の影響もあつたのか 気温が 1.5℃下がりました。



## 8/9 西山田・新小川バス停付近

浴衣を着た子ども達も、通りがかりのお年寄りも楽しく打ち水。  
この日は 0.5℃下がりました。それでも、通りがかったオジサンが  
「おー! 涼しくなったなあ〜」と感激してくれました。



大阪を冷やせ!

裏方も楽しいよ

地球を冷やせ!



大阪府は雨水利用を呼びかけています。130~200Lの雨水缶を無料(設置費用のみ自己負担)でモニターに提供しています。今年度のモニター募集は終了しましたが、来年度も募集の予定と聞いています。ご希望の方はご相談ください。(小田:06-6319-0630)

## 07年度版「暮らしのCO<sub>2</sub>ダイエット」にご参加を!

この夏、この暑さ、温暖化とヒートアイランドを実感している環境会議のメンバーの皆さま。

温暖化って、もう、どうにも止まらない?  
そんなワケないと、行動すれば、また汗が・・・  
環境会議は挑戦し続けますっ!  
まだまだできることはあるはず。

「暮らしのCO<sub>2</sub>ダイエット」シートを同封しました。  
市民も、市役所の職員さんも参加しています。  
まだやったことないという会員の皆さま、ぜひ、チャレンジしてください。➡

ご参加の方は、電話または FAX で下記までお申し込みください。お知らせや返信用封筒などをお届けします。(すでにチラシで申し込まれている方は不要です)

吹田市役所 地球環境課(申し込み・問合せ)  
「アジェンダ21すいた」エネルギー部会  
TEL: 06-6384-1782  
FAX: 06-6368-7350

環境会議は「アジェンダ21すいた」に参画し、「暮らしのCO<sub>2</sub>ダイエット」活動の運営団体になっています。

# 大木本数は97年の2倍のペース

生きもの委員会 平(ひら) 軍二

## 1. 大木調査結果その後

大木調査はその後にも継続しており 8月12日までに**551本**(同一ヶ所での97年調査は**259本**でほぼ倍増)、**97年トータル420本**を越えました。35℃を越える猛暑での調査は厳しいものの、大木の持つエネルギーをもらい、思いのほか楽しく行っています。現時点の結果は以下の通りです。

表1. 幹周りレベル

幹周りcm	本数
343~300	26
300~250	100
250~220	197
220~200	228
計	551

### ①大木幹周りのレベル

幹周りは表1の通り、97年調査時に未だ大木レベル(幹周り200cm)に達していなかったと思われる220~200cmの木が228本と41%を占めています。

表2. 町名ベストテン

町名	本数	主な所在地
1 千里万博公園	92	万博公園
2 藤白台	69	千里北公園
3 津雲台	64	千里南公園
4 高野台	56	千里緑地
5 古江台	35	弘濟院
6 佐竹台	30	佐竹公園
7 青山台	25	千里さくら通り
8 垂水町	19	垂水神社
9 中の島町	18	中の島公園
10 出口町	16	アサヒビール
10 桃山台	16	桃山公園
12~30 その他	111	
計	551	

### ②大木所在地 町名ベストテン

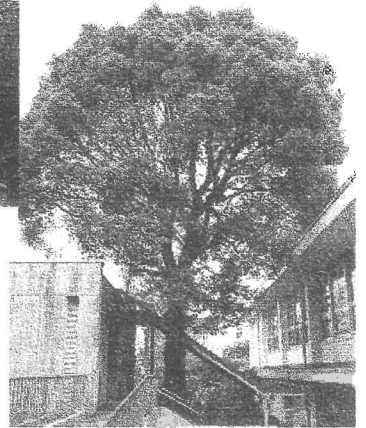
吹田市北部の調査を先行しているため、大木所在地も北に偏っています。町名別でも千里万博公園がトップ、千里ニュータウン各住区が続いています。

### ③高野台小学校クスノキの運命

楽しみが多い大木調査も、時には厳しく悲しい大木の運命を見ることがあります。高野台小学校のクスノキは根が下水管を破損しているため、今年の夏休みに切除される予定と聞いていましたが、7/25調査に入った日に、3本のクスノキが伐採の最中でした。



↑根が下水管のマンホールを抱く



伐採直前の高野台小のクスノキ

## 2. 今後の大木調査

大木調査は全市域をカバーすべく調査を続けており、詳細日程はすいた市民環境会議HPの「大木ブログ」でお知らせしています。

[http://blog.goo.ne.jp/taiboku\\_2007](http://blog.goo.ne.jp/taiboku_2007)

9月の主な調査日は下記の通りです。調査に参加し大木と親しくなりませんか。

・9月9日(日) 稲荷神社・高川沿い周辺

・9月13日(木) 豊津中・糸田川沿い周辺

何れも9:30 地下鉄江坂駅北出口(江坂公園入口)

## 操車場跡地100年後の森をイメージするための観察会

すいた市民環境会議では、吹田操車場跡地に木を植え「21世紀の森を作ろう」と提案しています。100年後の森をイメージするため、植樹された木々で林が森に、1本の木が大木・巨木に、100年間でどのように育ち変化するか、3回シリーズの観察会を開催します。

①9/23(日祝)万博公園(植樹35年後) 9:30 万博公園自然文化園中央口

②10/8(月祝)榎原神宮(植樹60~70年後)9:40 近鉄南大阪線大阪阿部野橋駅西改札口(JR及び大阪地下鉄天王寺駅より約5分)

③11/11(日)京都御苑(植樹100年後)10:00 京都地下鉄丸太町駅北出口

問い合わせ・申し込み先 平(ひら)軍二 (大木調査に同じ)

これ以外にも小グループでの調査を週2~3回行っています。詳細は上記HPの大木ブログでご確認の上、調査に参加してください。

(問合せ先: 平 軍二)

TEL 06-6877-0648

メール g-hira@nifty.com

# ピアノ池ヒメガマ刈り取り大作戦

2007年7月7日(土) 副会長 高畠耕一郎

7月7日(土)に、北千里の藤白台公園にあるピアノ池に約40名が集まり、ヒメガマ刈り取り大作戦がおこなわれました。すいた市民環境会議は準備段階から参加し、当日も6名参加しました。

このピアノ池のヒメガマ刈り取り大作戦は、2002年8月にすいた市民環境会議や吹田自然観察会、(社)大阪自然環境保全協会のメンバーが自主的に行い、行政の緑化公園室の協力も頂いて始めたもので毎年7月頃に実施しています。

一藤会自治会・すいた市民環境会議・吹田自然観察会・北千里カヌークラブ・吹田市緑化公園室・大阪自然環境保全協会・北千里地区公民館が「ピアノ池の環境をよくする会」を結成して、今では数ヶ月前から数回の会議を重ねて準備し取り組んでいます。

このような取り組みを進めている理由は、水の中に生えている植物「ヒメガマ」は放置するとどんどん広がっていき、やがて水面が見えないほどに繁殖してしまいます。

ピアノ池のヒメガマ群落は吹田市の千里ニュータウンにある貴重な自然環境であり、野鳥などの生き物にとっては欠かせない環境で、適切な維持管理をすると、多くの生き物が生息するすばらしい池になります。環境を考える市民や団体の手で繁殖しすぎたヒメガマを一部刈り取って、美しく生き物豊かなピアノ池にしたいと考えて参加しています。



この日は朝から快晴で暑すぎる感じでしたが、9時に集まりテントたてや観察用の生き物プールの設置などを緑化公園室の職員とともに始めました。

「ピアノ池の環境をよくする会」会長・木村裕氏の挨拶とこの運動の経過説明の後、胴長を着たり大型のカマを持って池の中に入ってヒメガマを刈ったり、急斜面での刈ったヒメガマを陸地に揚げる重労働も手分けして行いました。

今年は池の北東部分のヒメガマが岸に着くぐらいまで繁殖しているので、そこを重点的に刈り取り、池全体に水が循環できるようにしました。池の中に入っての作業はかなり大変でしたが、終了時点ではかなり水面が見えるようになりました。

片付けを済ませた後、最後に記念写真を取りながら、『毎年この作業が続けられるようにしたい、またもっと若い元気な人がたくさん参加できる体制を作っていかななくてはいけない。』とも思いました。



# 枚方宿のまちなみと鍵屋資料館・淀川資料館見学

2007年7月7日 まちなみ委員 岡村 昇二

まちなみ委員を中心に8名が参加し、枚方市文化観光協会のボランティアガイド田嶋氏の案内で、枚方宿などを丸一日かけて見学しました。

枚方市の人口は吹田市より多い40万人余りで、百貨店、ショッピングセンターもある近代都市ですが、古代からの歴史のまちでもあります。

中心部に江戸時代に栄えた旧街道の町並み「枚方宿」があり、周辺部にはわが国に漢字を伝えた王仁(わに)博士の墓や、朝鮮半島からの渡来王族の百済寺跡などがあります。

「枚方宿」は、東海道57次の56番目の宿場町であるとともに、淀川河運の京・大坂の中間点に位置して賑わいました。

スタート地点の京阪・枚方市駅より淀川方向に向かうとすぐに旧東海道(この付近では京街道と呼ぶ)に出ます。この街道を北東(京都方面)へ300mほど歩くと川に行き当たります。ここは宿場町の東入口を意味する「東見附」跡で、それを示す石碑と歴史街道の案内板が建っています。



歴史街道 枚方宿 東見附の説明板

前に横たわる川は「天野川」で、少し下流側の橋は「かささぎ橋」、つまり牽牛・織姫の七夕伝説にある「天の川」と、二人の仲を取り持って羽を広げて橋とした「カササギの橋」で、平安時代から「枚方は天の川伝説の地」と伝えられています。

この日は7月7日、「七夕の日」でしたが、全国7市町村の「七夕サミット」が当市で開催されている最中とのことでした。

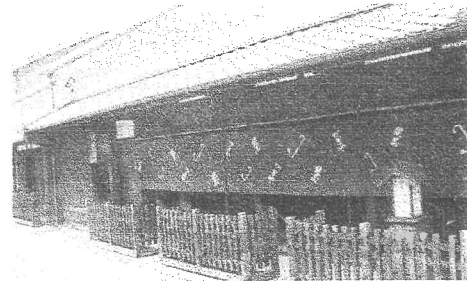
私たち一行はここでUターンして、「京街道」に沿って南西(大阪方面)に進みました。

ほどなく、虫籠窓(むしこまど)、格子戸のある伝統的な町屋(まちや)「小野家住宅」が街道沿いに残っていました。

宿場町を南下する途中には、歴史を示すものとして、「宗佐(そうさ)の辻」のなどの道標、秀吉の時代の堤防「文禄(ぶんろく)堤」の跡、商家「塩熊商店」、本陣跡、問屋跡、浄念寺、木南家などが

ありました。

枚方宿の目玉は、鍵屋資料館です。鍵屋は創業天正年間(1573~92)と伝えられ、淀川30石船の船宿として栄えました。平成13年に枚方市立資料館として生まれ変わりました。



鍵屋資料館

旧館は江戸初期の船宿の雰囲気を残した市指定の文化財であり、新館は平成初期まで料理旅館として営業をしていた建物で、現在1階は展示室、2階大広間はそのまま食事処・宴会場と活用され食事を提供しています。

この資料館の運営はNPO法人「枚方文化観光協会」ですが、協会は市内の観光に関わる企業を中心に75団体を会員として、観光の振興のために、観光案内所設置、ボランティアガイド派遣、広報誌発行、イベント開催、オリジナルグッズ販売などの活動をしています。

その他の見学では、樹周5m、高さ30m、樹齢500~600年、府指定天然記念物のムクの大木がありました。丘の上に今も勢いよく枝を広げた姿は圧巻です。河内鋳物師・田中家が製品をムクの葉で磨くために育てたものです。

最後はグリーンの美しい淀川河川敷を経て国交省の「淀川資料館」を見学しました。係員から淀川の現状、治水技術や歴史の説明を受け、映像、模型、パネル、生き物の水槽などでよく理解できました。



淀川資料館にて



# まちを歩けば

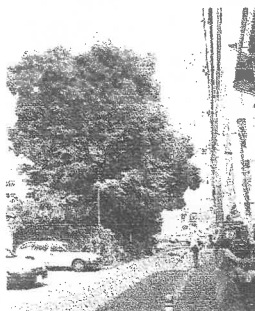
市内在住 ふら虎 きょうちゃん

## これはなんだ！ ご神木がバッサリ！ ～楠明神さん ごめんなさい～

今年の夏は本当に暑い。日中の気温が40℃を越えた地域もある。街には街路樹、木陰がほしい。ところがこれはなんだ！「あलック吹田」にも紹介されている「楠明神」（垂水町3丁目）のクスノキがバッサリ剪定されているではないか。「落ち葉の掃除が大変なので市に依頼して剪定していただいた。」とのこと。公費を使って楠明神社のご神木を剪定するとは。

8月15日の「市報すいた」で、阪口市長施政方針の第5の柱「環境を守り育てる」の中に「まちに季節感をもたらし、潤いを与える。美しい緑陰や街路樹の整備。歴史文化を思わせる路地裏やまちなみ、鎮守の森の再生など、吹田の原風景の再構築。」と記されている。

江坂駅周辺では「近隣企業や住民で掃除しよう。」と江坂まちづくり協議会が清掃活動に取り組んでいる。ここも、近隣企業・住民で掃除しよう。こんな剪定、明神さんに申しわけないなあ～。



2006年10月



2007年8月

吹田市立博物館（岸部北）の入口、名神高速道路下

## トンネルの壁面が巨大なキャンバス

～子どもたちとアーティストが描く 3.5m×40mの大壁画～

8月の日曜日、博物館を訪問すると、子どもから大人まで10数人が名神下のトンネル内の壁面にアーティストの指導を受けながらお絵かきしていました。昨年の吹田市立博物館「千里ニュータウン展」のイベントとして描いたトンネル入口側面の壁画のパート2として、現代美術を愉しもう塾（塾長 蓬田理恵子さん）が子ども夢基金の助成を受け、「アートの中で世代間交流を図りつつ楽しい空間を創造しよう。」と企画したものです。9月15日の完成式を目指し、夏休みの土日に描画に取り組んでいます。紫金山公園を散歩する人には大変評判になっているようで、完成が楽しみです。



・博物館関連ブログ <http://www.doblog.com/weblog/myblog/60028> から見られます。

# たんぽぽくらぶ カフェ 居酒屋 …

～市民と商店街、ボランティアをつなぐ～

たんぽぽくらぶ会長 鈴木真世 (山田東 会員)

『たんぽぽくらぶ? あーそれ、孫つき介護つきの3ババらしいけど、市民活動大好きな3人(尾浦・鈴木・長谷川)が、うちのビル2階に居候してますで! それもまた大きい顔してな。月1回居酒屋開いたり、仲間たちとカフェ始めたり、教室開いたりしてまっさ。「まちに元気の素をふりまく」とかいうて、好きなことしてますわ。』これはたんぽぽくらぶが拠点としている大松ビルオーナーの言葉。大松ビルは吹田市朝日町の錦通り商店街にある。

この3ババは、月・金曜日にカフェたんぽぽと称して、今年4月から街なかで誰もが気楽に立ち寄れるカフェをオープン。おしゃべり大好きなスタッフが、子育て中のお母さんや、お話しする機会の少ない一人住まいの方などを楽しい会話でご接待することが目的。

毎月第4木曜日の夜には、居酒屋たんぽぽで市民活動仲間や学生・商店街のおじさんなどが異文化交流を図っている。

そもそも3年前、JR吹田駅前のさんくす広場で開催されるアジアフェアの実行委員会から、この3人に『国際交流活動している方を紹介してほしい』と依頼があり、出会ったのが始まり。

3人が訪れた商店街の事務所

は、祭りの後の何とかで、おおいに散らかっており、それをお節介おばさん3人が、勝手にせっせと片付けたのだ。そんな行動がオーナーに気に入られ、月一回しか使わない事務所を、市民活動の拠点を探していた3人に貸してやろうと許可がでた。

また、ちょうどJR吹田駅前商店街は、地元商店街の魅力を伝えたいと一店逸品を紹介する冊子を作り上げたところで、それを紹介するイベントの一店逸品フェアをさんくす広場で開催した。このイベントを3人のたんぽぽくらぶが企画、運営し、商店と市民活動のコラボレーションが始まった。

3人はそれぞれ、国際交流・子育て・まちづくり・高齢者福祉などの市民活動をしていて市内には多くの友人・ネットワークがあったのだ。

そのネットワークを活かして、商店街のアーケードリニューアルイベントやマップづくり、アジアンフェアのステージ担当をしつつ、市民活動と商店街の協働の可能性を探っている。

往時の写真を見ると、JR吹田駅周辺の商店街は人があふれかえっていた。ところが今は、駐車場不足や電車で大ショッピング街の梅田に170円でいける立地が災いし、かつてのにぎわいを失っている。

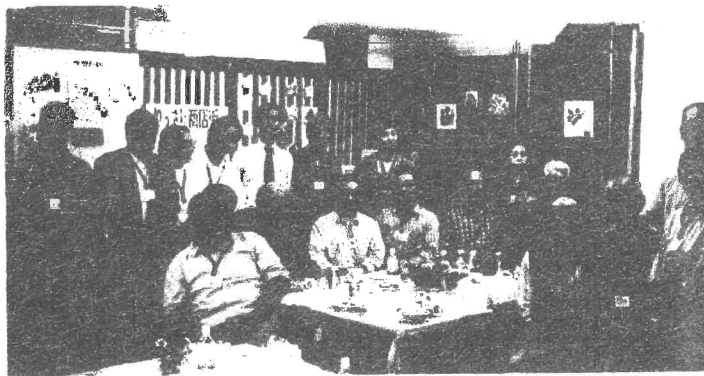
しかし世はめぐり高齢社会を迎えると、地域が商店街に求めるものはまた変わってきた。熟年世代は、身のまわりのものが小綺麗にそろって、新鮮でおいしいものが手に入ったら・・・後は程よく便利で、いつもの笑顔に出会えて、歩いて楽しい、身近なまちの方が居心地はよくなる。だから、たんぽぽくらぶはこれからのまちづくりは「compact 小さくて、cute 可愛くて、

comfortable 心地よい」の3Cがポイントと考えている。

たんぽぽくらぶという市民活動グループと商店街との、ユニークな結びつきから、吹田にしかない新しい展開が見えてくるのではないかと本

人たちが一番楽しみにしている。

すいた市民環境会議の会員には居酒屋たんぽぽの常連さんがたくさんいる。もっと多くの仲間が増えるのが楽しみだ。



「居酒屋たんぽぽ」のお客さま

たんぽぽくらぶ ブログ

<http://tanpopoblogsuita.blog96.fc2.com/>

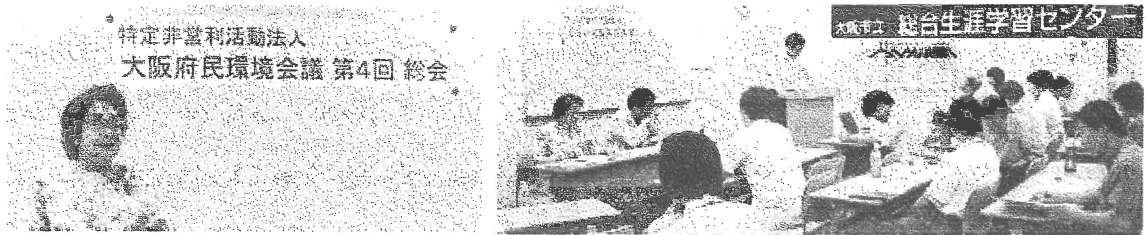
参加なさる方は長谷川までご一報ください。

090-2043-7435

## ～ こんなイベントもありました ～

\*\*\* ホームページ <http://www3.big.or.jp/~sskk/sskk.htm>にも掲載しています \*\*\*

大阪府民環境会議 (OPEN) 総会 / 07-06-30 大阪市立総合生涯学習センター  
大阪駅前第2ビルで OPEN 総会があり、小田会長が出席しました。



関西大学「食と環境」連続講座でゲストスピーカー / 07-07-06 関西大学

関西大学地球環境学講座 2007 年春学期テーマスタディ「食と環境」にゲストスピーカーとして招かれ生活環境委員会の喜田、小田信子、西川が出席し、約 150 人の学生に「食を選ぶ視点続ける力点」のテーマで活動の実際を紹介しました。

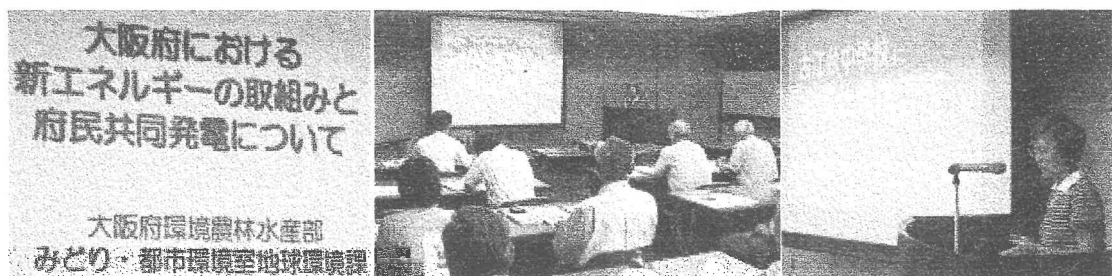
講座のあと、講座で紹介した「バラゴンバナナ」や安全な「お菓子」を囲んで、学生・教授とともに「交流会」を持ちました。関西大学生協の方々も出席して、関大に「環境問題」講座が立ち上がったことを喜びました。環境会議メンバーの講座で取り上げたバラゴンバナナや添加物の少ないお菓子が並びます。

「食に興味があつて楽しく受講できた」「フェアトレードのことをもっと知りたい」「私の子どもにはきちんとした食生活をさせたい」「食をとおしてさまざまな環境問題を知ることができた」など感想が述べられました



新エネルギー・府民共同発電セミナー / 07-07-11 茨木市役所

生活環境委員会の小田信子が参加し、府の助成金交付事例として、古江台中学・市民共同発電所設置の話をしました。すいた市民環境会議が実施した 05 年度の府の助成金交付事例は 3 件でしたが、昨年は 2 件だったそうです。今年はどうなるのでしょうか。実質半年弱の期間で市民共同発電所を設置することの大変さがわからずに夢中で突っ走ったことを思い出しながら話をしました。



アジェンダ 21 すいた 総会 / 07-07-14 大阪学院大学・15 号館

大阪学院大学でアジェンダ 21 すいたの総会が開かれ、小田会長、高島副会長、小田信子理事が出席。総会のあと、市長も参加して懇親会が開かれました。

## 吹田千里ライオンズクラブより大木調査に支援金を戴きました。

当会で今年度取り組んでいる「古木大木調査」について、吹田千里ライオンズクラブより100万円の支援金を戴くことになりました。

吹田千里ライオンズクラブは、1967年10月に設立され会員数は、25名です。「We serve」で奉仕をモットーにした任意団体です。

恒例となっている事業は、千里子どもカーニバルや吹田まつりへの協賛。また独自事業として年4回献血活動をしています。また、山手小と片小の子どもたちに夏休みの課題として平和ポスター・コンテストなどを行っています。

古木大木調査は、すでに実施していますが、その結果を報告書やわかりやすいポスターにして、市民や関係団体に配布したいと考えていましたが、その資金の出どころがありませんでした。しかし、今回、吹田千里ライオンズクラブ（会長：中村英夫氏）に寄付の打診をしていましたものが実現しました。

大変有り難いことです。感謝します。

(文責 副会長 高島耕一郎)

## 第31回「あろっく吹田」散策会 佐井寺コースのご案内

- ・日 時：2007年9月8日（土）小雨決行
- ・集 合：阪急千里山駅西改札前 9：30 解散：南千里駅 14：00
- ・参加費：会員200円 非会員300円  
別途昼食代（1200円程度 佐井寺小学校前 ナポリで会食）
- ・申込先：大越（TEL 06-6382-7769 FAX 06-6382-8697）先着20名

### <お詫びと訂正>

- ・前号「ほたるを追って10年」の投稿者の名前が間違っていました。訂正します。  
投稿者：塩田 敏治 さんです。（誤：塩田 俊治）

### <編集後記>

- ◎ 環境会議の活動を中心に紹介していますが、活動の輪がもっと広がればとの想いで編集に携わっています。
- ◎ 「吹田の郷」だけでなく、「市報すいた」にもイベント案内が多く掲載されています。
- ◎ 是非、記事を読まれたみなさん、イベントに参加しませんか。また友人に勧めてみませんか。
- ◎ 新しい自分の発見、新しい仲間の発見があります。
- ◎ 会報委員会の悩みの一つが原稿の募集。本号では「たんぼぼくらぶ」と「ふら虎 きょうちゃん（ペンネーム）」から原稿を頂き、今までと少し変化が出たと編集委員は喜んでいました。市民環境会議の目的「身近な自然環境・歴史的文化的環境・生活環境を保全・回復・創成する」にかなった話題なら、なんでも歓迎します。
- ◎ 「ペンネームでよければ」と投稿頂いた「ふら虎 きょうちゃん」、本当は歩いて見た風景でなく、彼はいつもデジカメとビデオを携え、スクーターで毎日かけ巡っています。何十年後には、彼の撮った吹田の風景は貴重な資料となるでしょう。

(会報委員 一同)